

特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会・わ

〒420-0856
静岡市葵区駿府町1番70号
静岡県総合社会福祉会館内
☎ 054 - 254 - 6234
FAX 054 - 254 - 6396

メールアドレス siz-syojyu6234@ace.ocn.ne.jp
ホームページアドレス <http://sswa.jp/>

59号



みなさん こんにちは のぞみ作業所です



管理委託された花壇で仮植作業に取り組む利用者

今号の内容

連合会の活動と各作業所の取組について ...	P 2 ~ 3
連合会の組織	P 4 ~ 5
就労移行支援事業所の開所	P 6
連合会ホームページのリニューアル	P 7
施設名変更事業所等一覧	P 8 ~ 9
新規加入施設の紹介	P 10
移行推進研修会	P 11
作業所ではたらく本人・職員研修会	P 12 ~ 13
各地区だより	P 14 ~ 16
多機能型事業を選択して、編集後記	P 18

誕生 昭和60年12月1日
平成20年9月1日
(特定非営利活動法人 認可)

『明るく・仲良く・元気よく』

をスローガンに
利用者18名 職員 6名 頑張ってます。
お陰様で作業所も明るく広くなりました。
自主製品(園芸・染色)も好評を得ています。
とにかく 一度お出掛けください。
お待ちしております。

特定非営利活動法人 のぞみ作業所

〒412 - 0041
御殿場市葉萁沢890 - 7
TEL・FAX 0550 - 89 - 6884



スポンジの袋入れを一日約2000個仕上げる利用者

連合会の活動と各作業所の取組について

特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会・わ 理事長 金刺幸春

野分のわけの空の雲のように社会も自然も激しく動いている時代です。私たちの事業にかかわる障害者自立支援法は、抜本的見直し案が前国会で廃案となり、総選挙後の国会では法律そのものがどう変化していくか不透明な情勢にあります。振り返って、自立支援法が成案なつた四年前の私たちの社会は、どのような状況であつたのでしょうか。また、四年前の私たちの作業所は、どのような状況であつたのでしょうか。先を追う前に、私たち自身の足跡を冷静に振り返りながら、今後のことを考えていきたいと思ひます。

機関誌発行に当たり、今年度の活動状況について以下にその概要をお伝えいたします。

一、県内作業所の移行状況

さて、障害者自立支援法の本格施行に伴い、当会加盟の各作業所は新制度への移行を順次進めてきました。移行の状況は本年四月現在で、会員一三六事業所のうち一一三箇所が新制度に移行、一二三箇所が移行前の小規模作業所の状況です。移行率は九割を越えました。昨年と同時期の移行状況が四割程度でしたので、この一年間で急速な転換が図られたこととなります。平成一八年一〇月から障害者自立支援法が本格施行されたことを振り返ってみますと、この三年間の本県の小規模作業所は、劇的な変化の時代にあることを改めて認識します。

二、移行支援に向けた研修会と成果

当連合会の活動は、このような状況を想定し、一昨年より小規模作業所の新制度への移行に向けた具体的な研修プログラムを提示し、毎月移行のための研修会を実施してきました。その内容は、法人業務、会計業務、請求業務など、新事業を進める作業所の運営基盤強化に向けた実践的な研修を提示してきましたが、毎研修会とも土曜日の開催にもかかわらず多くの担当職員の方々が熱心に聴講されております。この二年間の研修の積み重ねの成果として、会計業務については公認会計士の杉山明喜雄先生のご指導の下、就労支援会計の業務マニュアルの作成と協力メーカによる会計ソフトの開発が行われました。また、研修スタッフによる日常業務マニュアルも作成され、新制度移行後の作業所の管理業務体制に対する着実な活動が進められています。

三、連合会共同事業

(1)「静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロット」と
「みんなのお店・わ」の経営

昨年開設した静岡市駿府町の「みんなのお店・わ」は、多くの皆様のご協力を頂き、一年間何とか営業を継続できました。毎月行われる商店街の共同事業であります「駿府市」には、地元静岡市内の作業所を始め、

東部・中部・西部各地区から交代で参加いただき、商店街の皆様方のご理解も進んできました。営業上の課題については、売り上げや商品構成、在庫の管理、職員の体制など、検討すべきことも多くありますが、共同の学習の場としてこのお店を生かしていきたいと考えます。

そして本年四月より、静岡市内で活動してきた小規模作業所「キャロツツ」が、就労継続支援B型事業所として連合会の法人直轄事業としてスタートいたしました。併せて「みんなのお店・わ」に就労移行支援事業を開設し、六月から三名の方が利用を始めました。この二事業を行う事業所名は、「静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロツツ」です。長年、静岡市内各地で車椅子による営業活動を実践してきたキャロツツのメンバーの活動に学びながら、新しい仕事作りや販売方法、就労に向けた支援、利用者や家族に対する相談会など、連合会事業としての特長を生かした事業を進めていきたいと考えますので、会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

(2) 授産製品開発プロジェクト事業・販売促進員事業

木造建物倒壊実験教材「木造倒壊ぶるる」と「避難所運営ゲームHUG（ハグ）」の共同製作や販売、クッキー・パウンドケーキの中元・歳末セールに向けた共同事業を継続して進めていきたいと思えます。また、県の新規事業として販売促進員事業がスタートし、各作業所商品を企業等にPRしたり、企業や地域のお客さんのオーダーを拾うことなど、作業所と地域のマーケットを繋ぐ活動も進められています。これらの活動は、単に作業所工賃のアップを目的とするだけでなく、障害のある人たちが誇りをもって働くことのできる仕事作り、やりがいや働き甲斐のある仕事の創出に向けた事業にしていきたいと思えます。

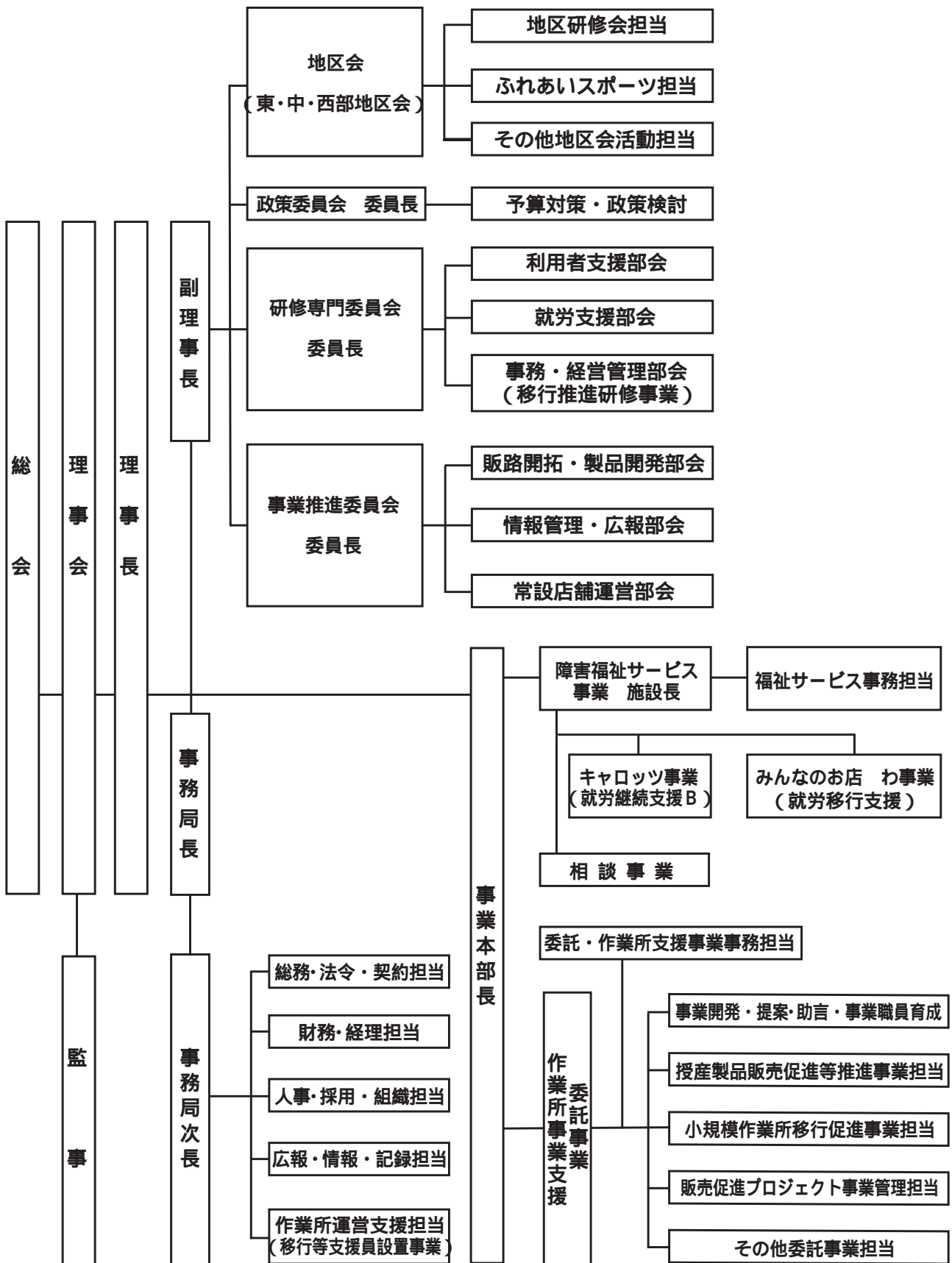
四、新制度化での事業の方向について

加盟施設の九割以上が新制度に移行し、これまでの事業経営とは予算も管理業務も大きな変化を各作業所に与えていると思えます。私たち連合会は、自立支援法への対応として、各作業所の法人化・個別給付事業への移行を基本的な路線として進めてきました。法の課題は、依然として議論の渦中にあると言えますが、選択した事業の中で各作業所の支援内容や組織体制の充実は、共通する課題です。移行は、あくまでも目的ではなく、小規模な作業所が事業基盤を整える最低条件の手段として選択した道です。会計・請求・一般事務等、これまでにない業務に負担や戸惑いを感じているところも多いと察します。しかし、法に基づく公的業務を責任もって障害のある人たちに提供する体制作りは、私たちの責務と言えます。移行後の事業所における財務状況としては、小規模作業所の補助金時代よりはある程度改善されてきた所が多いと推察します。今こそ、事業の充実と将来に向けて、支援スタッフの充実、しっかりとした財務管理と人材確保を進める必要があると感じます。

小規模作業所の課題や問題点として、「少ない財源と人材不足、組織の脆弱性」を私たちも指摘してきました。移行後の各作業所が、この課題にどう取り組んでいくか、大切な場面にあると考えます。進むべき事業計画の策定と運営資金の有効・効率的な運用をしっかりと行い、「地域に暮らし、地域で働く」作業所に通う一人一人の人たちに対して、多様でしなやかに対応できる人材を配置し、働きやすい環境を整備することが今こそ問われているものと考えます。

季節は、夏から秋へ移っていきます。政治・経済・社会の動き、国・地方自治体の施策の方向、今まで以上に不透明な景色です。会の活動については、忌憚のない意見交換や情報交換を大切に、「誰のために何が必要な事業」かを、作業所の原点に立って考えていきたいと思えます。

特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会・わ 組織



平成21年度 特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ 委員会組織

		担当理事	施設名	担当理事	施設名
政策委員会 委員長 永井昭	予算対策・ 政策検討	永井 昭	くるみ共同作業所	後藤 弘	ふじさん
		金刺 幸春	すぎのこ作業所	鳥居 正	(特非)たからじま
		三谷 末光	草笛共同作業所	秋山 和枝	ラポール安倍川
		高木 誠一	工房 めい	三輪 浜子	サンサンいわた
		太田 秀夫	きさらぎ	増田 樹郎	愛知教育大学

		担当理事	施設名	委員	施設名		
研修専門委員会 委員長 高木誠一	利用者支援部会	高木 誠一	工房 めい	中村 千恵	竹の子		
		渡辺 昌徳	藤枝第二心愛	日吉のりえ	おんすいち		
		肥田 伊雄	ワークステーションどんぐり	藪崎 実樹	焼津心愛事業所		
		山崎 令子	ゆうゆう舎	森 早苗	ハミング		
		中村 貢	熱海ふれあい作業所	平野 潔	ひまわり工房		
	就労支援部会				水口 眞喜	第2くるみ作業所	
		三輪 浜子	サンサンいわた	中野 千晶	まつぼっくり		
		水野 洋一	ひまわり工房	早川 てい	むつみ作業所		
		尾関 久子	ぼるた	久門みつ子	ワークセンターあさがお		
		伊東 康男	中豆授産所	水野 昌子	えんぜる		
	事務・経営 管理部会				海野洋一郎	ループ	
					岩本 重幸	ワークセンター	
		金刺 幸春	すぎのこ作業所	井上 忍	伊豆つくし学園		
		八木 克典	日本平学園	比留川竜希	むつみ作業所		
		神尾 芳典	藤枝第一心愛	増田 二郎	のびる作業所		
		加茂 令	引佐草の根作業所	荻沢 洋子	熱海ふれあい作業所		
				桑原富士雄	ともの家		
				杉本 孝子	ラポール安倍川		
				今村 育代	牧之原市第2こづつみ作業所		
				那須田真道	ふれあい作業所		
	事業推進委員会 委員長 後藤弘	販路開拓・ 製品開発部会			鈴木 明美	(社福)みどりの樹	
					中野 卓也	くるみ共同作業所	
					鈴木江美子	ウイズ蜷塚	
			鈴木 節子	ワークセンターコスモス	渡邊よし子	愛の丘	
			斯波 千秋	ウイズ半田	鈴木 久敬	さわじ作業所	
		情報管理・ 広報部会	販路開拓・ 製品開発部会	佐野 剛	ふれあいショップあゆみ	植田久美子	牧之原市こづつみ作業所
						岩田 賢彦	ラポール川原
						平野 貞裕	根洗作業所
情報管理・ 広報部会						山岸富士夫	くるみ作業所
			後藤 弘	ふじさん	三條 洋二	ワークショップマナ	
					内藤 善仁	にこにこサポートふれあい	
					井上 公子	ワークステップドレミ	
					森藤 明子	ワークショップリ～ふ	
常設店舗 運営部会				鈴木八重子	サンサンいわた		
				山浦 房子	太陽の家		
	太田 秀夫	きさらぎ	秋山 満子	キャロッツ			
	秋山 和枝	ラポール安倍川	庄司 秀子	サポートセンターみつばち			
	岩田 聡志	みしまさくら	富田伊津子	牧之原市こづつみ作業所			
			安間 孝明	グレース工房			
		犬塚 淳	青葉の家				
		上甲 俊介	青葉の家				

静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロット

就労移行支援事業所 みんなのお店「わ」に開所

NPO法人静岡県作業所連合会・わの就労移行支援事業所が6月22日(月)に静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロットの事業所として、みんなのお店「わ」に開所し、事業がスタートしました。

利用者のニーズと小売業や流通業などの企業のニーズがうまく調和し、利用者・事業所とも成長・発展していけるよう、利用者と職員が力を合わせて進んでいきたいと思ひます。

お店の2階で開催した入所式やお店での取組の様子などを写真でまとめてみましたので御覧ください。



秋山施設長、職員と共に記念撮影



高木副理事長より「利用許可証」を授与される



商品の清掃をしながら陳列し直しています



商品の着ふくさを検品しています



売り上げた商品の記帳も頑張っています



お店の玄関前に勢ぞろい

「わ」のホームページが リニューアルされました！

<http://sswa.jp/>



5月1日にホームページをリニューアルしました。ホームページアドレスのsswaは、静岡県のs、作業所のs、「わ」のwaを組み合わせたものです。今回のリニューアルの特徴は、最新情報を早く更新できるシステムの構築、見やすい統一したデザイン、ホームページとしての内容の充実です。カテゴリは5つ。「わ」の活動、作業所の情報、作業所ではたらく、「わ」について、総合相談窓口になっております。

先日情報管理・広報部会を開催し、システム製作を担当した東京のメガパワーズのスタッフから更新作業の講習を一日掛けて受けました。その日の内に講習会の様子をそれぞれの委員が公開することができました。今後の活動の方向としては、联合会・わの各委員会から直接情報発信ができるようにしてまいりたいと考えております。

作業所ではたらくについては、利用者はもちろん支援するスタッ

フの求人情報として機能させ、作業所に関わる情報をタイムリーに掲載してまいります。

SSWAの「わ」のホームページはまだ誕生したてです。これからいろんな皆さんのお力をお借りして充実したページを作ってまいりたいと思います。



「わ」の各委員会活動や事業部の活動を柱に情報発信していき、各地区の活動や作業所の日常の様子もどしどし発信できるツールとして「わ」のホームページが充実するよう部会として活動してまいりたいと思います。また、機関誌「わ」についても、59号から載せていきたいと思っています。作業所の職員の皆さんにもお伝えいただき、基本的な「わ」の情報源として活用していただけるとありがたいです。

なお、今度のホームページは携帯電話からも同じ画面で見ることができます。

施設名変更事業所一覧

多くの事業所が平成20年度途中から法定移行等をして施設名を変更しています。平成21年度通常総会の資料にも掲載しましたが、追加もあり、改めて掲載します。併せて、事業種別及び運営主体別統計表も掲載しましたので、御覧ください。

東部地区

新 名 称	旧 名 称
ワークあおぞら	東伊豆作業所
	河津町小規模授産所 いずみ
心象めぐみ会共同作業所	心象めぐみ会共同作業所
	福慈園
指定生活介護事業所 みしまさくら	三島さくら作業所
さわじ作業所	心身障害者小規模授産所 さわじ作業所
指定生活介護事業所 おんすいち	おんすいち作業所
柿田川作業所	清水町地域活動支援センター 柿田川作業所
のぞみ作業所	第一のぞみ作業所
障害者就労支援センター ジョブネットはら	障害者就労福祉センター ジョブネットはら
プラザティンクル	地域活動支援センター プラザティンクル

中部地区

えんぜる	授産所 えんぜる
ニット工房ライク	草薙授産所 ライク
麦の会	麦の会共同作業所
ぼけっと	小規模授産所 ぼけっと
ギャラリーココ	小規模授産所 ギャラリーココ
わかまつ	わかまつ作業所
アスカ	アスカ作業所
どろんこ	どろんこ作業所
ラポール・ファーム	ぼけっとファーム
ラポール・チャクラ	チャクラ・ワーキング・ハウス
静岡障害者就労ネットワークセンター・キャロッツ	キャロッツ
工房みなみ	小規模授産所 工房みなみ
精神障害者共同作業所 なごみ	サンワークおさだ
焼津心愛事業所	焼津心愛作業所
ワークセンターなのはな	なのはな作業所
ワークセンターあさがお	あさがお作業所
ワークステップドレミ	ドレミ共同作業所
ワークセンター希望の家	希望の家作業所
うたしあ	ドレミ金谷作業所
ワークセンターふれあい	川根ふれあい作業所

みどりの丘	本川根作業所
みどりの丘えまつ	枝松作業所
吉田町さくら作業所	吉田町さくら授産所
ワークセンターやまばと	やまばと作業所
牧之原市地域活動支援センター はぐるま	はぐるま作業所

西部地区

ひまわり工房	ひまわり作業所
サンサンいわたとよだ作業所	磐田市とよだ作業所
サンサンいわたふれ愛ひろばくすの木	ふれ愛ひろばくすの木
サンサンいわた竜洋あゆみ作業所	竜洋あゆみ授産所
サンサンいわたワークハウスペンギン	ワークハウスペンギン
太陽の家	小規模授産所 太陽の家
ループ	ライム
	さつき
	まつぼっくり
ハートピア・ワーク湖西	さざなみ会共同作業所 ハートピア・ワーク湖西

事業種別統計表

事業種別	東 部	中 部	西 部	計
小規模作業所	4		9	13
就労継続支援B型	27	33	12	72
生活介護	3	1	3	7
多機能型	7	9	9	25
自立訓練（生活訓練）		1		1
地域活動支援センター	3	15	2	20
計	44	59	35	138

運営主体別統計表

運営主体	東 部	中 部	西 部	計
特定非営利活動法人	16	37	15	68
社会福祉法人	27	22	14	63
財団法人	1			1
社団法人			2	2
手をつなぐ育成会			3	3
精神福祉会			1	1
計	44	59	35	138

新規加入施設の紹介

施設名 特定非営利活動法人 スリーアール静岡
就労支援ねっとわーく じゃんぷ

事業種別 就労移行支援、就労継続支援B型

所在地 静岡市駿河区津島町14-23

作業内容 部品の組み立て、清掃作業、古紙回収、縫製作業

P R 就労移行支援と就労継続支援B型の多機能型で一環したサービスを提供しています。内職作業以外にも古紙回収や保育園、お寺、施設での清掃作業や企業での軽作業をさせていただき、積極的に外に出て社会参加活動を行っています。



施設名 特定非営利活動法人 ほうむ・べいす
Common Space

事業種別 就労継続支援B型

所在地 静岡市駿河区西脇594番地4

作業内容 機器解体作業(ガスメーター、パソコン等)
電子部品組み立て

P R メインの作業は、機器解体です。使用済みのガスメーターやパソコンのリサイクルのための作業です。様々な道具を使い分けて、金属の種類ごとに分解しています。“施設”というよりは“町工場”の雰囲気の中で作業をしています。余暇活動にも力を入れていて、“月に一度”と“年に一度”があり、“月に一度”は、毎月の工賃から積み立てたお金を使います。行き先や活動内容は、日々の会話の中で決めています。また、一般就労を希望する方には、他の機関と連携して支援をしています。



施設名 特定非営利活動法人 愛育の会
サポートセンター みつばち

事業種別 就労継続支援B型

所在地 牧之原市細江2495番地

作業内容 CD及びDVD解体、部品袋詰め

P R 作業活動支援、生活支援、余暇活動支援、リフレッシュ活動支援を主体としております。利用者さんは、毎日元気に通ってきて、市内の企業さんよりお借りした作業を大張り切りでやっています。
2階の窓から見える坂口谷川のアヒルが心を和ませてくれます。



平成21年度移行推進研修会の実施に当たって

事務・経営管理部会委員長 日本平学園

八木 克典

今年度も、静岡県より委託を受け、新事業体系への移行推進研修会を実施しています。

昨年度から引き続きこの事業の委員長に任命されましたが、大変な重責を担っていると感じております。私自身、三年目を迎えた移行推進研修会を受講されている方々に有意義な勉強をしていただくためには、どのような事業計画を立案するのか頭を悩ました。

今年度の四月、公認会計士である杉山明喜雄先生と副委員長のお力を借りて、平成二十一年度の事業計画を作成しました。今年度は、より専門的な講義になるよう弁護士や司法書士の先生方にも講師を務めていただくことにしました。その他にも、福祉施設で役立つソフトウェアの紹介や職員教育の実践方法についても研修内容に取り入れていきたいと考えました。また、個別の相談会を計画していますので、具体的な質問に対する回答ができると思います。

この頃、一つ気が付いたことがあります。実は、この移行推進研修会で一番多く学ばせていただいているのは、受講されている皆様ではなく、私自身であることです。

事業移行前・後に何が必要なのか。どのような内容に興味をもってもらえるのか。どつ話をしたら理解してもらえるのか。月一回の研修会は、私にとって勉強資料の宝庫なのかもしれません。

今まで小規模作業所を運営してきた人たちが、今度はNPO法人を立ち上げて複雑に絡み合った制度を理解することは、大変な努力が必要だと思えます。

今後の予定

「研修内容」等変更する場合がありますので、事前に送付する「案内」で確認してください。

実施日	研修内容	場所
9月7日(月) 8日(火)	給与ソフト、会計ソフトのデモンストレーション(業者) 会計ソフトの入力方法、会計ソフトの帳票書類と一連の流れ及び固定資産物品管理(杉山公認会計士)	ペガサート・静岡市産学交流センター
9月14日(月) 15日(火) 16日(水)	就労支援会計及び業務一般相談会 (杉山公認会計士、テキスト作成委員) *地区別	東部：三島市 社会福祉会館 西部：アクトシティ浜松 中部：シズウエル
10月10日(土)	個人情報の保護(専門家) 市販の請求ソフトの紹介(業者)	シズウエル
11月21日(土)	事業申請及び事業変更手続き(県) 個別支援計画ソフトの紹介(業者)	シズウエル
12月14日(月) 15日(火) 16日(水)	就労支援会計及び業務一般相談会 (杉山公認会計士、テキスト作成委員) *地区別	東部：事業所 西部：事業所 中部：事業所
1月16日(土)	税務実務(源泉税、印紙税、消費税、収益事業)	シズウエル
2月20日(土)	平成22年制度見直し(県) 危機管理(専門家) 計画的な職員教育(専門家)	シズウエル
3月13日(土)	決算業務の概要と詳細	シズウエル

土曜日の休みの日に大勢の方がこの研修会にお集まりくださり、真剣な眼差しで講義に臨む姿勢は、施設利用者や職員の幸せを夢見ているものかと想像できます。

今年度も最後まで気を抜かず頑張りますので、移行推進研修会に多くの方の御出席をお待ちしています。

作業所で働く本人

・職員研修会報告

利用者支援部会委員長 工房めい

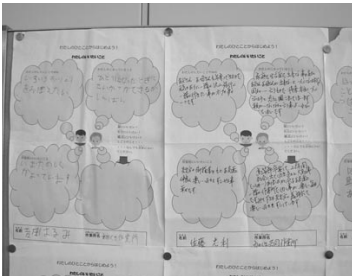
高木 誠

私たちは「利用者」なの？

六月二十六日（金）にシズウエルにて「作業所ではたらく本人・職員研修会」が開催されました。かねがね、連合会の本人部会を開催したいと利用者支援部会では話し合ってきましたが、ようやく第一回の本人の集いが実現しました。

最初の開催ということで、利用者支援部会から静岡市清水区のゆうゆう舎の本人の皆さんにお願いをして、企画段階から皆さんに参加していただきました。

企画会議では、利用者支援部会では「利用者研修会」という名称を提案したのですが、まず、当事者本人たちが自分たちをどう呼ぶのが、話題になりました。それは作業所での自分たちの立場をどう考えるかということにもつながることで、「利用者」「当事者」「メンバー」「仲間」「本人」など、どういった呼び方が適切なのかを話し合いました。「私たちは施設を利用している



のではない。一緒に作業所で働いているメンバーだ。」「作業所は職員も働く者として同じ立場だ。」「でも障害者自立支援法では福祉サービスの消費者になっている。」「当事者って障害のある当事者なの？作業所の当事者は職員も当事者だ。」「など……。作業所とは何かの根幹にかかわるような議論が続きました。なかなか結論が出ず、育成会等でも「本人」と呼んでいることから、とりあえず「本人」という呼び方でいこうと整理されました。この問題は、ぜひ継続して議論すべき課題だと思います。

また、本人だけではなく、職員もまた協働して作業所を営んでいるので、共に当事者ということでも「作業所ではたらく本人・職員研修会」と研修のタイトルを決めました。

わたしのひとことから始めよう！

そしてスローガンは「わたしのひとことから始めよう！あなたの職場はどうですか？」と決め、できるだけ多くの本人たちの「声」を集めることになりました。開催に先駆けて、各作業所の本人の方々から、「わたしのいいこと」というメッセージカードに記入していただき、事前に集めました。このカードはすべて会場に展示しました。

メッセージカードの一部を紹介します。

- ・ひとりになったときせいかつできるかしんばい。
- ・高等部を卒業して二十五年間社会に出て働き、いじめなど大変なことがありましたが、今はお

友達と一緒に作業所と働くことができて楽しい毎日です。

・ともだちとついでにゆうにいろいろできる楽しめるへやがほしいです。

・彼女がいたほうがいいかわからない。

・対人関係でコミュニケーションがうまくとれないことで困っています。

・いつまでもお母さんに元気でいてほしい。

・もう少し給料を上げてください。ボーナスもそうです。

・お友達がしつこくて困っています。

・やさしくしてね。

・ちよきんしたい。

・夏は冷たいお茶をだしてください。

・水を飲むことはとてもいいことです。限度はありますが、当然トイレも近くなります。トイレにいかねければもらってしまいます。トイレに行くな！は残酷です。ひどいです。我慢したら体に悪いです。薬を飲まない人にはわからないと思います。

・



十一時から、本人たちの司会で研修会が始まりました。五十人ぐらいの参加があればと思っていたところ、百人を超える参加者が集まりました。作業所を休みにして全員で参加した作業所も数か所あ

りました。熱気が伝わる雰囲気、午前の部は、ゆづゆう舎の上野仁さん、神村真美さんの総合司会で、各作業所の自主製品の宣伝を本人の人たちが行うという企画からスタートしました。前に出て順番に作業所で作っているクッキーや機織り、縫製品、ノートなどが紹介されました。みんな作業所の仕事に誇りを持って、自信たっぷりな製品を自慢していた姿が印象的でした。続いて、本人の気持ちを大切にしてほしいというメッセージを込めたゆづゆう舎の人たちによる寸劇や、クイズでアイスブレーキングが行われました。そして、持ち寄った「わたしのいいこと」の発表が行われました。参加者は積極的に手を挙げてマイクを持ちました。話したい人が多すぎて、とても時間が足りない様子でした。

昼食をしながら、名刺交換が行われました。たくさんの仲間と知り合えました。

パネルディスカッション

「わたしのひとことからはじめよう！
あなたの職場はどうですか？」

午後からは、連合会の理事でもある愛知教育大学増田樹郎教授の司会で、パネルディスカッションが行われました。

パネリストの皆様は次の方々でした。

- ・さわじ作業所 石井きよ子さん
- ・さわじ作業所 刈敷広之さん
- ・ゆづゆう舎 杉山元太さん
- ・キャロット 砂川一也さん

- ・サンサンいわた 吉田桂子さん
- ・ループ 渡瀬よし子さん
- ・すぎのこ作業所 金刺幸春 連合会・わ理事長

紙面の都合で、詳しくは紹介できませんが(別途報告集を作成します)、本人の皆さんの発言は、今の作業所で毎日感じている楽しさや苦しみ、悩みに加えて、将来の自分のあり方についてこうありたい、こういうことが不安なのだ切々と語ってくださいました。



また会場も交えた全体討議も活発に行われました。驚いたことは、増田先生のコーディネートの上しさもあつたと思えますが、パネリストの語りや会場からの発言がそれぞれガチツとかみ合つて、議論がどんどん膨らんでいったことでした。病気の悩み、対人関係の悩

み、就職のこと、親のこと、家から出ての自立生活のこと……語りの中から本人たちの想いが滲み出るような討論会でした。聴く人たちも長時間の研修会でしたが、本当に集中していたことも驚きでした。また、パネリストの人たちも他の人の発言を聴くことで、自分の想いや考えを確かめ、新しい考え方を得る機会となったようです。

一人の本人さんが語った言葉が強烈でした。「作業所を卒業しなければお金はたくさんもらえない。でも今お金をたくさんもらえなくてもいいや、作業所にこのままずっといて、作業所の主になつた方がいいんじゃないかと思ひ始めた。ストレスもないし、こっちの方が精神的に圧倒的に楽だし、この考え方は間違っていますか？一般社会から逃げているのでしょうか？どう思いますか？」

会場から拍手が起きました。作業所の役割を問う鋭い発言でしたが、反面、職員としてはうれしい話でした。こうした本人たちの問いに、私たちはどれだけ応える言葉をもっているのでしょうか。

「聴く力」という言葉があります。十分に相手の話を傾聴することでより良い人間関係が築かれます。「職員さんは忙しいといつて私たちの話を聞いてくれない。」という発言もありました。増田先生により、作業所は、仕事をする場、仲間が集まる場という役割の他に、「本人たちの話をききんと聴く場である。」と提言がされました。金刺理事長からは、「作業所でどう時間を使うのかを考え直すことが必要だ。」という発言がありました。納期に追われて本人たちの話を傾ける時間がないのが現状かもしれません。でも「時間を差し上げる」という言葉があるように、本人たちが時間を掛けて自己主張できる時間を作ることが本当に大切だと痛感した研修会でした。

本人の皆さんからもぜひ来年も開いてほしいという声が多く寄せられましたので、研修メニューに加えていきたいと考えます。

東部地区だより

若手育成プロジェクトについて

東部地区会若手育成プロジェクト担当理事 みしまさくら

岩田 聡志

東部地区会では今年度から太田会長の熱い思いから「若手育成プロジェクト」を立ち上げました。作業所時代の時は、日々の運営に追われ、職員の育成まででは対応が難しかったです。しかし、自立支援法に伴う施設に移行して、以前と比べて運営的にもゆとりが生まれました。

次のステップとして人材の育成です。特に各事業所では若い職員がほとんどいない状態です。就職しても数ヶ月で離職してしまいます。その理由として、安い給料、ハードな労働、そして、悩みを分かち合える仲間がないことが挙げられます。、各事業所で前向きな改善をしていただきたいと思えます。 については、今回から立ち上げた「若手育成プロジェクト」で地域の若い職員の輪を作りたいと考えています。先輩・上司には、なかなか話せない内容を同じ立場の職員が分かち合えるような環境を提供したいと考えています。若い職員がやりがい、希望、そして夢を語れるような環境作りをサポートしたいと考えています。そのような環境が利用者に対しても質の高いサービスを提供できるようになると考えています。これからは、「人材」ではなく「人材」として扱っていかねばいけません。「人材」がそろっている事業所が、

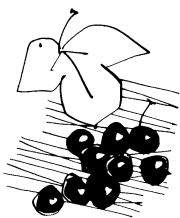
この自立支援法に立ち向かっていける事業所だと思えます。

私は、作業所で働いて五年目を迎えます。現在、仕事が楽しくて仕方ありません。努力したことが結果となり、利用者が笑顔で応えてくれることがたまりません。そして、人が人を呼び、大きな輪を日々作っています。その喜びを若い職員にも体験させてあげたいと思っています。そして、その喜びを職員全員で分かち合えるような職場環境が必要であると考えます。

今年度は、プロジェクト一年目として「出会い」をテーマとしたパーベキュー大会を予定しています。お酒をたくさん飲んで、日頃なかなか言えない上司の悪口を言って盛り上がり上げていただきたいと思います。そして、ストレス解消の場にもつなげたいです。

この「若手育成プロジェクト」を支える中高年職員は、「お金を出して口は出さない」姿勢で見守っていただきたいと思います。東部地区だけではありませんが、次世代を担う職員を育てることが施設長さんの次の課題だと感じます。

最後に東部地区の若手職員（自称で可）の皆さんの積極的な参加及び施設長さんの寛大なるご理解をよろしく願います。



中部地区だより

中部地区会研修会報告

中部地区志太・榛原地区会会長 ワークセンターコスモス

鈴木節子

静岡県作業所連合会・わ・中部地区会研修会が七月四日(土)の午後、島田市プラザおおるり大会議室にて百名の事業所職員の参加者を得て開催されました。鳥居中部地区会会長の挨拶に始まり、来賓として島田市福祉課長伊藤様よりお言葉を賜り、開会しました。

研修内容は「ストレスとうつ病の関係」で、福祉労働に携わる人の健康について、健康ポテンシャルテストの実施、つまり身体に人間ドックがあるように精神の人間ドックを……ということでした。やまばと学園の研修で講師をお願いしたことがきっかけで浅井哲朗氏を再度お願いしました。早稲田大学卒業、八幡学園勤務とのこと。先生の経歴をしっかりとりたいところですが、御自分からお話いただけなく、ユニークな方なのにこれしか分かりません。当日の内容を少し抜粋してみます。

生きがいについて

生きがいとは？

いき 息：生物として生きる

行：目的に向かって生きる



意気：満足感を持って生きる

生きがいの構成は

生きがいを求める心

生きがいの対象

生きがいを感じる心

ストレスについて

ストレスは二種類ある

ストレス：激しいストレスには休養がもつとも良い。

ストレスがないストレス：生きがいがないとストレスはない

動物にはストレスはない。(戦うか 逃げるかの世界)

ストレスが多いとセレクトニンが不足する。

セレクトニンを増やす薬はない。休養が一番。

その後いよいよテスト開始

1 先生が質問事項を二十問、×回答 自己評価で判定

2 次は資料として準備されたものをYES(二点)、どちらでもない(一点)、NO(〇点)で答える。それを決

められた計算式に点数を入れて計算する。その点数をグラフにして判定する。(自己評価)このテストがとてもおもしろい…。

御希望の方にはこのテスト用紙を差し上げます。

眠たくなる研修どころか、とても楽しくあつという間に二時間が過ぎてしまいました。

研修会終了後、親睦会を「三布袋」という料理屋で行いました。四十名の参加、こじんまり有意義な交流会となりました。コスモス中心によるスタッフの余興もあり、場が盛り上がりました。

西部地区だより

西部地区職員研修会を終えて

西部地区区会長 サンサンいわた

三輪 浜子

作業所の法定移行に当たり、静岡県のご支援や作業所連合会のご協力のもと、西部地区も七ヶ所を除きすべての作業所が移行し、その七ヶ所も順次移行に向けて準備を進めている段階であります。このような社会情勢の中、六月十九日（金）・二十日（土）とグランドホテル浜松にて職員研修会を開催いたしました。

県の職員による行政説明をしていただいた後、聖隷クリストファー大学社会福祉学部佐々木敏明教授による「社会福祉の仕事を問い直す」というテーマで講演をしていただきました。今、障害者自立支援法が施行され、新体系移行に向けて各施設が様々な自助努力を行う中、利用者も現場の職員も理念と現状の狭間はざまに置かれ、もがき苦しんでいるのも事実であるかと思いません。そのような中、佐々木教授の社会福祉の仕事に対する心構えや、障害の



ある人の生き方・生活の仕方ができる限り包括的に把握するためのかわり方について本心に心打つものが多く、今までの作業所の歴史・在り方と障害のある人へのかかわり方の重要性について改めて考えさせられるものでありました。

二日目は、現場からの視点と課題という観点で第一分科会にぐるみ共同作業所・永井昭施設長の作業所の経営について、法人運営における組織の活性化を提案していただき、第二分科会に私三輪が新体系移行について実際の実務と問題点・課題等を提案、第三分科会にひまわり共同作業所の水野洋一施設長が授産事業の活性化について、それに伴う重要性和課題等の提案、第四分科会にはるたの岡部宏子氏が利用者支援について事例を基に支援の在り方等を提案していただきました。

いずれの分科会においても共通して言えたことは、障害のある人の生き方・生活の仕方をできる限り全体的、包括的に把握する視点と障害のある人への適切なかわり方が、作業所の運営と組織の活性化につながるといことが分かり、有意義な研修会を終えることができました。



静岡県知的障害児者生活サポート協会



Three horizontal rectangular input boxes stacked vertically.



Four horizontal rectangular input boxes of varying lengths stacked vertically.

加入の資格



Three horizontal lines for text input.



静岡県知的障害児者生活サポート協会

静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-254-5230

パンフレット
ご希望の方は
ご連絡下さい!

多機能型事業を選択して

B型・生活訓練 B型・生活介護

(社福)静岡手をつなぐ育成の会
ラポール安倍川 管理者

秋山和枝

平成19年4月就労継続支援B型と生活訓練の多機能型事業所として出発しました。

利用者・保護者との話し合いの結果、利用者全員が両方のサービスを利用したいということになり、週に1～4日はB型を取り、残りの日は生活訓練という複雑な形式での出発となりました。当初は利用者・職員ともに戸惑いながらの毎日でしたが、個別支援計画を検討し、いろいろ試みていくうちに毎日の生活にもリズムが出て2年間を経過しました。その結果、

・手織りの作業にも取り組みながら生活訓練にも継続して取り組みたいという声が利用者・保護者から多く出ました。実態から言っても、



多機能型が適当と思われました。しかし生活訓練は有期限であり、期限が近づいていました。

・全員が二つのサービスを取っているため、支援計画・実績報告等が非常に複雑



になっていました。

上記のような事情から平成21年4月より生活訓練を生活介護に変更し、B型か生活介護のどちらか一つを選択してもらうようにして再出発しました。

狭い施設の中で二つのサービスを同時に行うために、スペース等いろいろな工夫をしながらB型と生活介護に取り組んでいるのが現状ですが、開所以来20年間取り組んできた手織りを大切にしながら、利用者が毎日笑顔で暮らせるように新しい分野に取り組んでいきたいと願っています。

「参考様式集」のCD頒布

移行推進研修会で取り上げてきた各種規則等の様式について加筆修正して再編集したものです。

各施設の実情に応じて加除修正できる利便性があるCDについては、既に頒布済みの施設もありますが、希望する施設がありましたら、1枚5000円で頒布します。

(内容)

規程・規則関係(就業規則、旅費規程など)
プログラム関係(工賃集計表など)
その他(出張命令書、年休届など)

内容・注文等の詳細は、事務局までお願いします。

6/30付けの各施設長宛でのEメールでも御覧になれます。

編集後記

今年の夏は、公園清掃と市役所のカフェの仕事を担当しています。暑い日差しの中、汗を思いつきりかいて利用者とは掛けておりません。着替えを済ませ、市役所へ直行してカフェを担当。いろんな働く場が増えればいいなあと今日も一日が終わります。平成二十一年度の初めての発行です。

情報管理・広報部委員長

ふじさん 後藤 弘